

4章 供試体

4.1 健全供試体（キャリブレーション供試体）

あと施工アンカーが健全な状態で施工された供試体で、予備情報として健全なあと施工アンカーの計測が必要な非破壊検査技術のキャリブレーションに使用する。

健全供試体の一例を図 4-1 に示す。

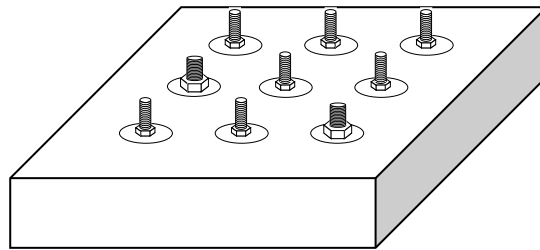


図 4-1 健全供試体の例図

標準アンカーの事前計測に使用するものであり、コンクリート中の配筋の影響などをできるだけ受けたくないような配筋およびあと施工アンカーの配置とし、定着方法、種別、ボルト径毎に健全な状態であと施工アンカーが施工されているものである。

4.2 模擬供試体

あと施工アンカーに生じる不具合を模擬した供試体で、基本性能試験と一部の適用性能試験に使用する。

模擬供試体の一例を図 4-2 に示す。

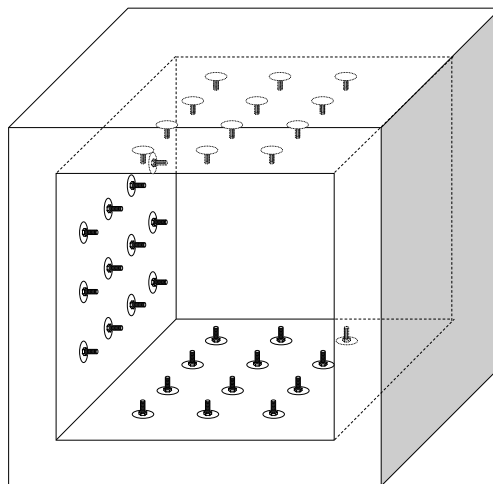


図 4-2 模擬供試体の例図

3章で定義したあと施工アンカーの不具合を模擬した供試体であり、あと施工アンカーが実際に使用される向き（上向き、下向き、横向き）で検査することを想定したものである。

4.3 実部材供試体

母材コンクリートに経年劣化やひび割れ等の変状、既設の支障物がある場合を想定し、撤去部材に不具合を模擬したあと施工アンカーを施工した供試体で、適用性能試験に使用する。

実部材供試体の一例を図 4-3 に示す。

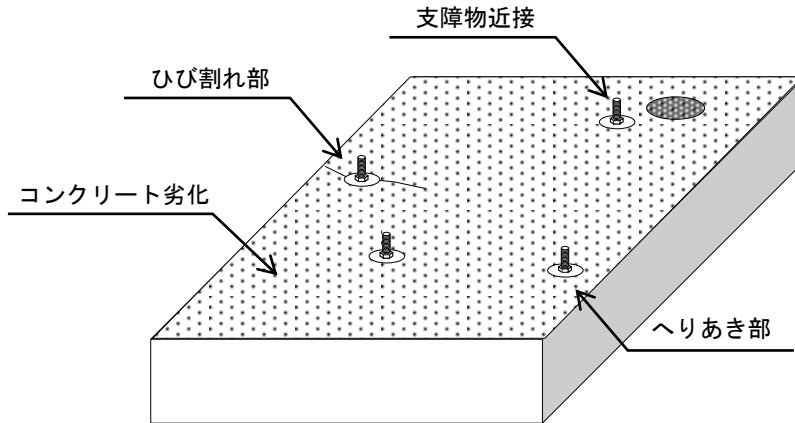


図 4-3 実部材供試体の例図

コンクリート劣化やひび割れなどの変状が生じている撤去部材に 3 章で定義したあと施工アンカーの不具合を模擬した供試体であり、様々な条件が存在する実構造物への適用性を想定した検査を行うものである。